

踏まれ踏まれても生き返る

NO.24 2025.4.25

COM-MATCHAN

いたばし雑草通信

編集：発行 木村松夫
090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com
com-matcham@hotmail.co.jp

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。

板橋区立エコポリスセンター「かんきょう観察員」

地域自主活動グループのページでも閲覧できます。ほかのグループも見てください→ <http://ow.ly/nqgc50AoMDs>

まちなかでも誰も踏み込まない場所に見つけた ファンタジック世界



クサノオウ（ケシ科）

都立赤塚公園の大門地区ではニリンソウと入れ変わるようにヤマブキソウが咲き乱れていることと思いますが、そのヤマブキソウとそっくりなのがクサノオウ。同じケシ科でも、こちらのほうがはるかに多量の毒成分アルカロイドを含んでいて、人間はその毒性をうまく活用して皮膚病や胃薬などの薬として重用してきました。薬草の中でも多くの効用があるので「草の王」と呼ばれているのですが、それがまちなかの半分崩れている古い木造アパートの裏手にたくさん生えていました。

昔は赤塚公園のような「自然地」では見られず、徳丸や下赤塚のまちなかで見られたりしました。数年前までは北区十条の裏道でも観察しましたから、人が栽培していたのかもしれませんが。このアパートもそのうち取り壊されるのでしょうから、そういう歴史も消滅していくわけです。



中用水跡のお花畑

本紙No14で紹介した江戸時代の用水路（中用水または根付用水）の遺構が残る唯一の場所（板橋区と北区の堺の姥ヶ橋）にきれいなお花畑が広がっています。咲いているのはムラサキカタバミ、ハナダイコン、ナガミヒナゲシですが人が踏み込まない場所では、おおらかに生きていてとても美しい！

「雑草」として見向きもされない植物でも写真に記録していると役に立つことがある エコポリのHPで「板橋区の植物ベスト100」を準備中

2024年度は板橋区立エコポリスセンターの事業である「かんきょう観察調査」のひとつである区内の植物一斉調査のまとめ役を引き受けてきました。その結果は最近発行された『令和6年度かんきょう観察報告書』にまとめていますので、ご覧になりたい方はエコポリスセンターまでお問い合わせください(前野町4-6-1 tel:03-5970-5001)。

わたしがかわかってきた植物一斉調査は、①調査に参加してくれたみなさんがみんなで同じ場所を調べて、その結果を前回までの調査と比較するほかに、②調査員がそれぞれ自宅周辺の街路や公園緑地などで生育している植物を調べる「地域調査」の2つの方法で行って来ました。

400種以上の植物が記録される

②の「地域調査」は前回まではあらかじめ設定した30種の指標植物を見つけてもらう方法だったのですが、これが案外難しいものでした。そこで、2024年度は調査対象エリアに生きているすべての植物をあげていただくことにしました。春は58名、秋は45名のたくさんの方々が参加してくれて記録表に上がってきた植物は春485種、秋427種に及びました。調査地点は全部で114ですが、なかには1か所でしか記録されていないものもあり、全114か所の中で出現率が比較的高いベスト100を抽出して一覧表にして報告文をつくりました。出現率が同率のものあり、また春と秋では観察される植物種が異なるので、ベスト100に上がった植物は全部で142種になりました。

参加者が主体的に取り組む方法の工夫

2024年度は調査やまとめの方法も少し変えて、

参加者が主体的に取り組めるように班編成を考えたり調査票のエクセルへのまとめも参加者に手伝っていただく方法を探ったのですが、こうしたことは少なくとも3年間は続けてようやく定着するものです。全種調査ではこれまで参加者のみなさんに配布していた30種の指標植物テキストは使い物にならないので、新たに「ベスト100の写真紹介テキスト」を作った上で、「調査スタッフ会議」なども公募して次につなぐことを考えていたのですが、木村の体調不調でまごまごしている間に事態は進んでいて、気が付いた時にはもう今年度の調査課題が決まっていました(蝶の調査です)。

「この花なあに」と合わせて204種の 写真集がつくれたらいいな

いずれ何年か後に再び植物調査がテーマになるころには今回の経験は忘れ去られてゼロからの出発になるのは明らかで、これはもうまとめ役を引き受けた木村の力不足、不徳の至りというほかありません。せめて、エコポリのホームページでベスト100の写真を紹介することが出来ないかと、現在相談中です。

さて、ベスト100の植物の写真142種、果たして木村のコレクションで撮ってあるのだろうか？それが次の問題でしたが、ありました。道端でよく見かける植物でも、きれいなもの珍しいもの以外は無視してしまいがちですが、とにかくなんでも丁寧に記録しておく、いつか役に立つのだなあと、我ながら感心！

赤塚公園対象の『この花なあに』では106種を紹介していて、エコポリ調査と合わせると204種の写真(共同制作者・鷺見さん撮影も含む)での紹介をいずれ何かの方法でチャレンジしてみたいな。

今日(4/25)で79歳になりました

現代ではこの年齢まで生きるのは当たり前ですが、戦争が終わった翌年に未熟児で生まれて、そのままひ弱な子どもになって、中学生時代には登校拒否、大人になっても女性の前でおしゃべりが出来なかったわたしが、今ではこんなになっちゃいました。良く生きてきたものだと、自分で自分を褒めています。この前買った安物カメラが使い物にならなかったの、少しだけ高いコンパクトデジカメを買い込みました。それでもわたしには大散財。でも、自分へのご褒美です。

昨年誕生日にテスト版01号を発行してから1年間で27号を作ってきましたが、他人に気兼ねすることなく、本心で物事を考え語ることの大切さと気持ちよさを実感しています。

さて、これからは・・・？ 戦後80年の生き様の振り返りはしておかなきゃ。